

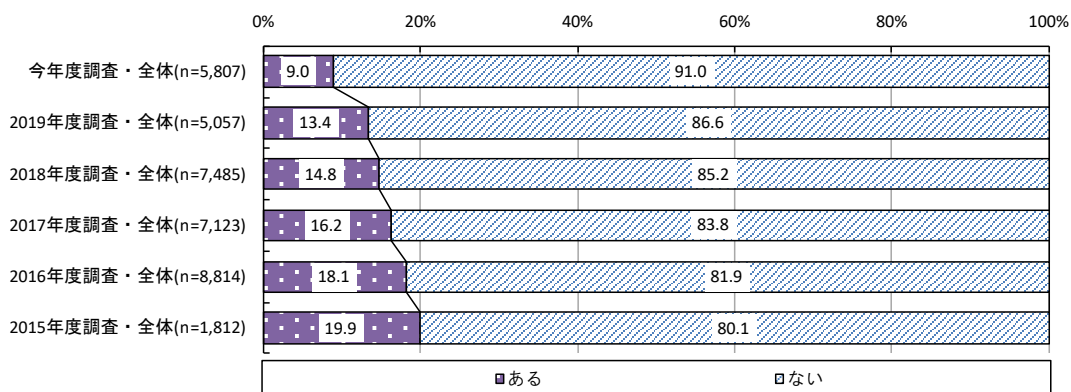
## (7) 「オワハラ」の状況

### ① 「オワハラ」の有無

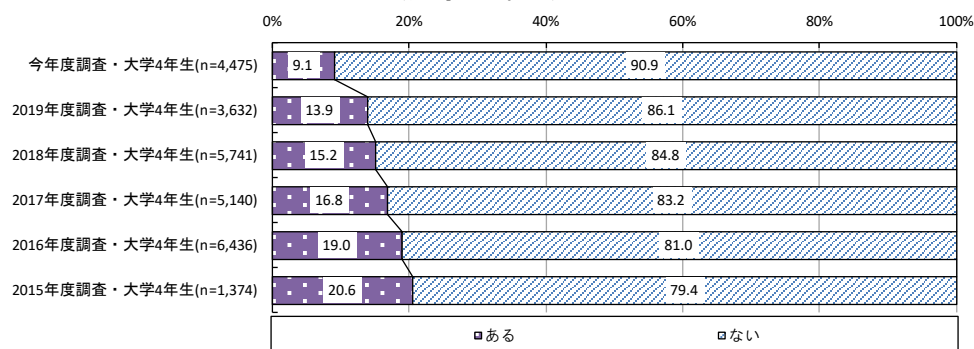
企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為（「オワハラ」）を受けたことがあるかについて<sup>95</sup>、約1割の者が「ある」と回答している。

過年度調査と比較すると、今年度調査では「ある」の回答割合が低くなっている。

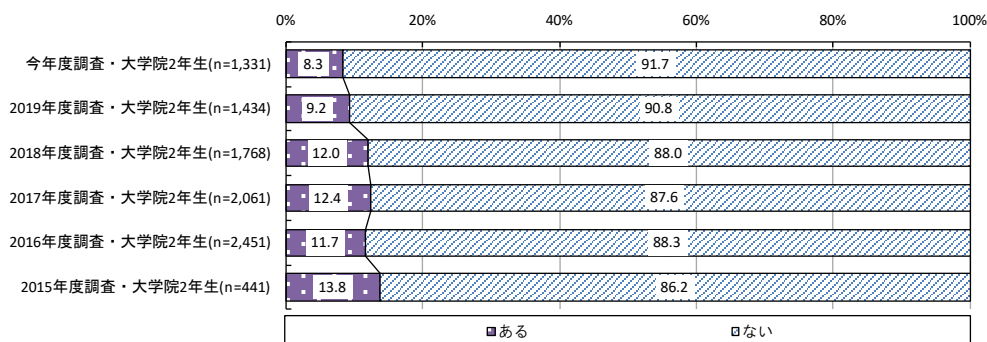
図表 4-7-1 企業から「オワハラ」を受けた経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)

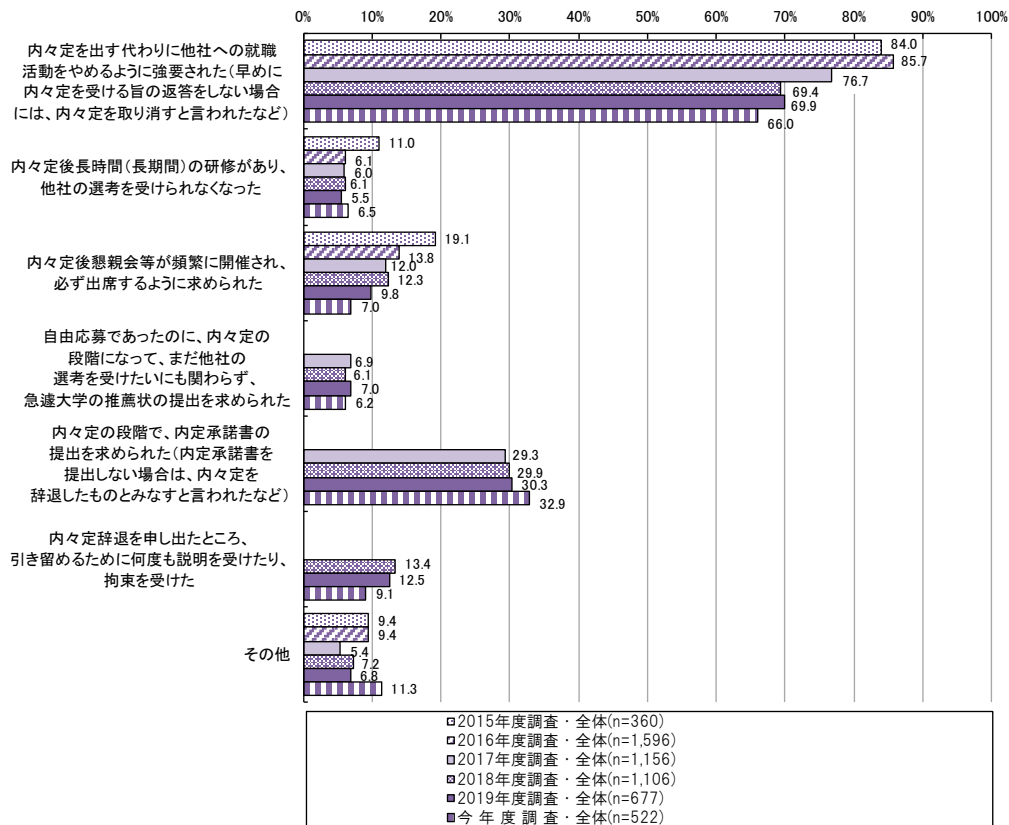


<sup>95</sup> 内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

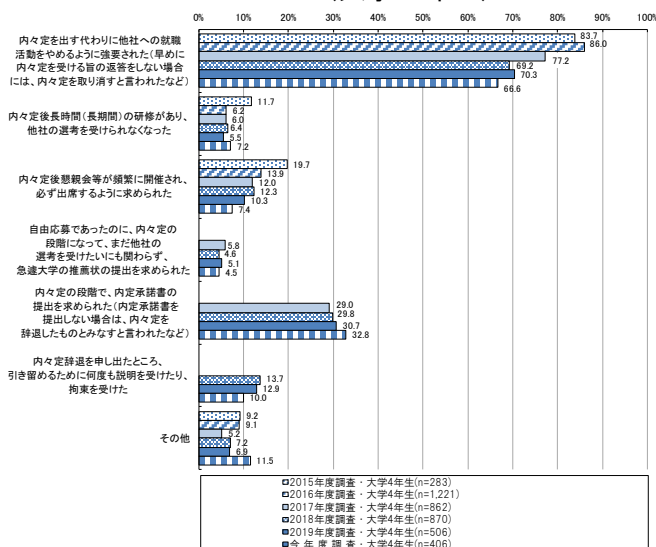
## ②「オワハラ」の内容

企業等から、「オワハラ」を受けたことがあると回答した者に関し、どのような行為を受けたかについては、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）<sup>96</sup>」の回答割合が約7割となっている。次いで、「内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）」の回答割合が約3割となっている。

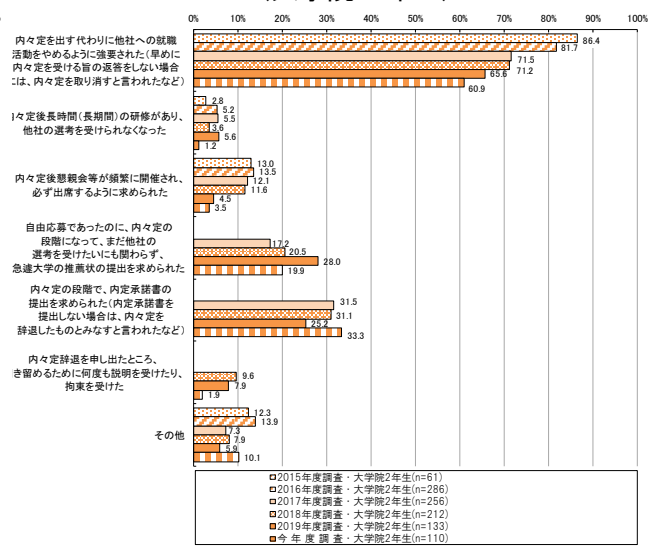
図表 4-7-2 「オワハラ」の内容（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



(大学院2年生)



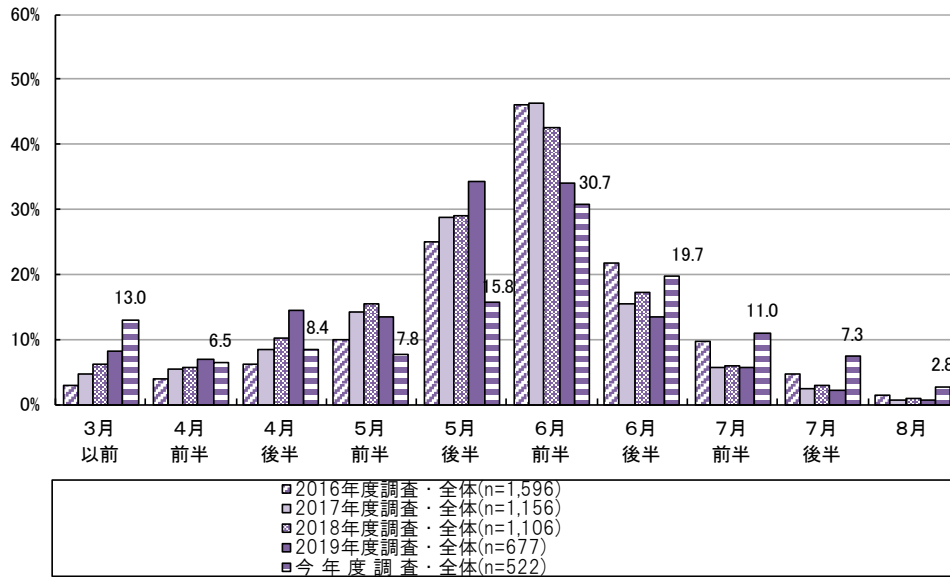
96 2018年度調査以前は、「早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど」の例示はせず単に「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」の項目で調査を実施している。

### ③「オワハラ」があった時期

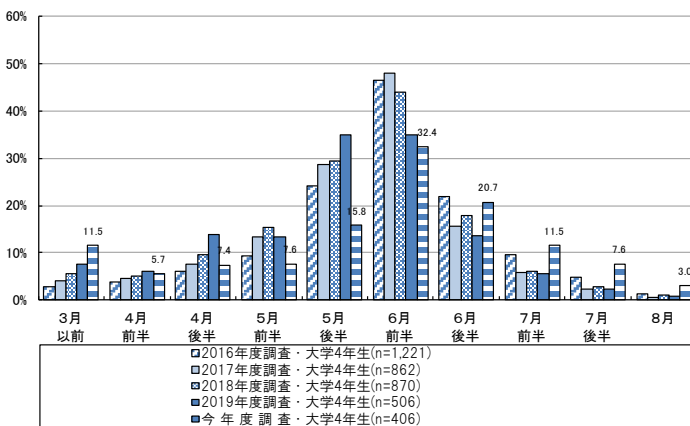
「オワハラ」を受けた時期について、「6月前半」の回答割合が約3割、次いで「6月後半」が約2割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、今年度調査では「3月以前」や「6月後半」以降の時期の回答割合が高くなっている。また、「4月前半」から「6月前半」の時期の回答割合は低くなっている<sup>97</sup>。

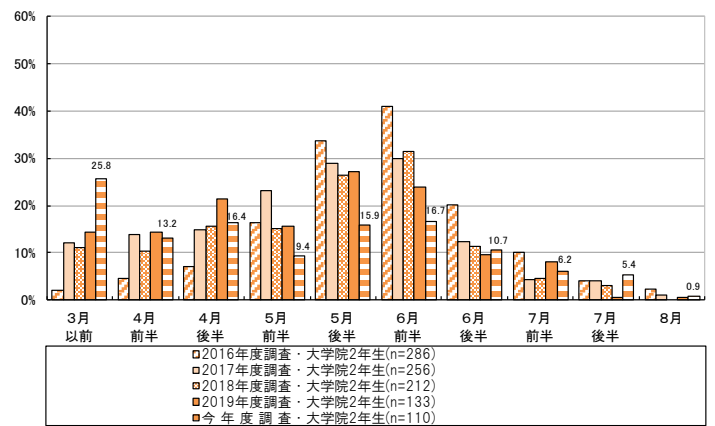
図表 4-7-3 「オワハラ」を受けた時期（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



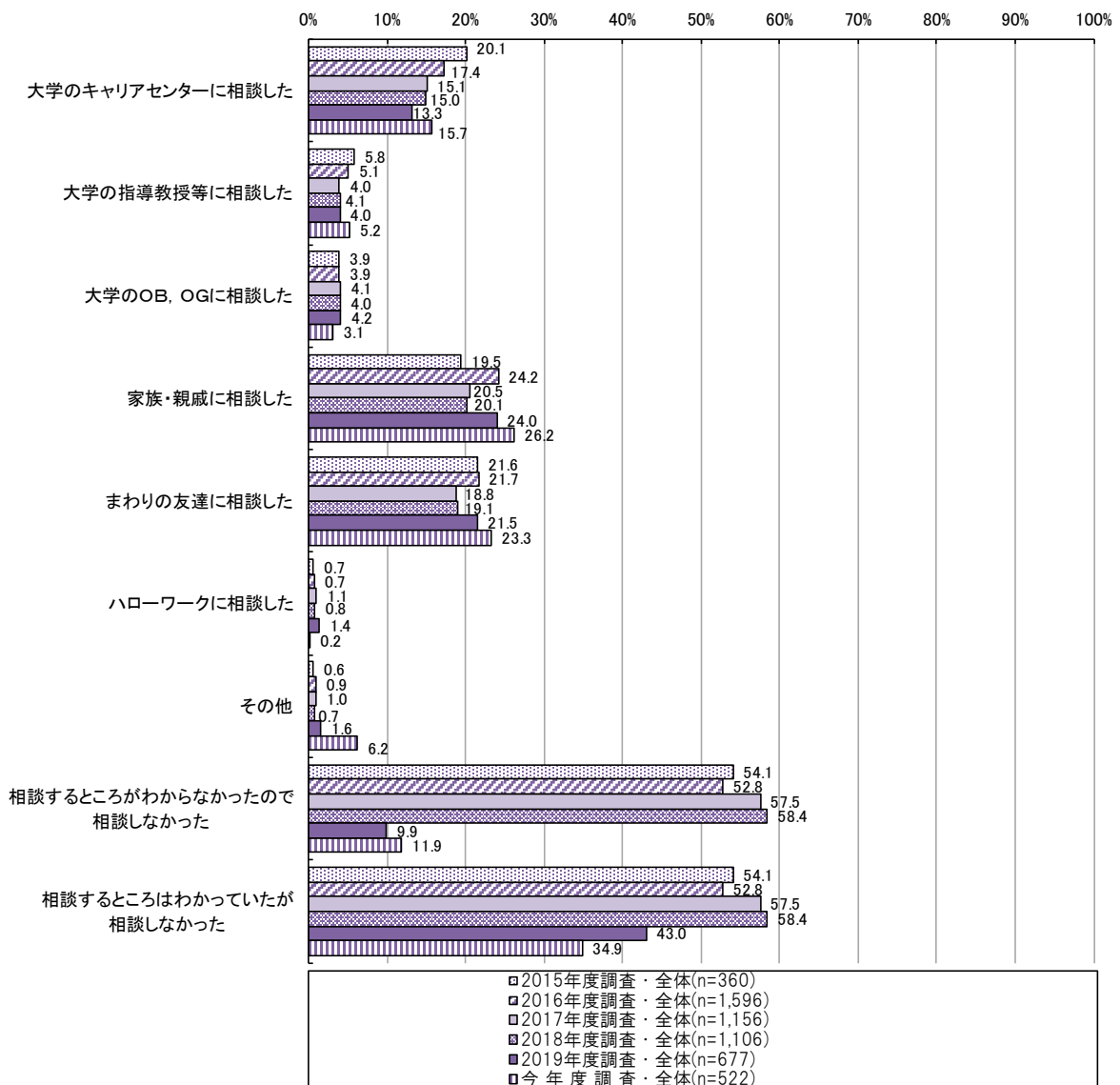
<sup>97</sup> 2015年度調査でもハラスメント的な行為を受けた時期に関する設問の調査をしているが、選択肢として設定している時期が他の年度の調査とは異なることから、ここでは比較の対象としなかった。

#### ④「オウハラ」への対応

ハラスメント的な行為を受けた際の対応については、「家族・親戚に相談した」の回答割合が約3割、「まわりの友達に相談した」の回答割合が約2割となっている。これは、2019年度調査と比較するといずれも若干高くなっている。

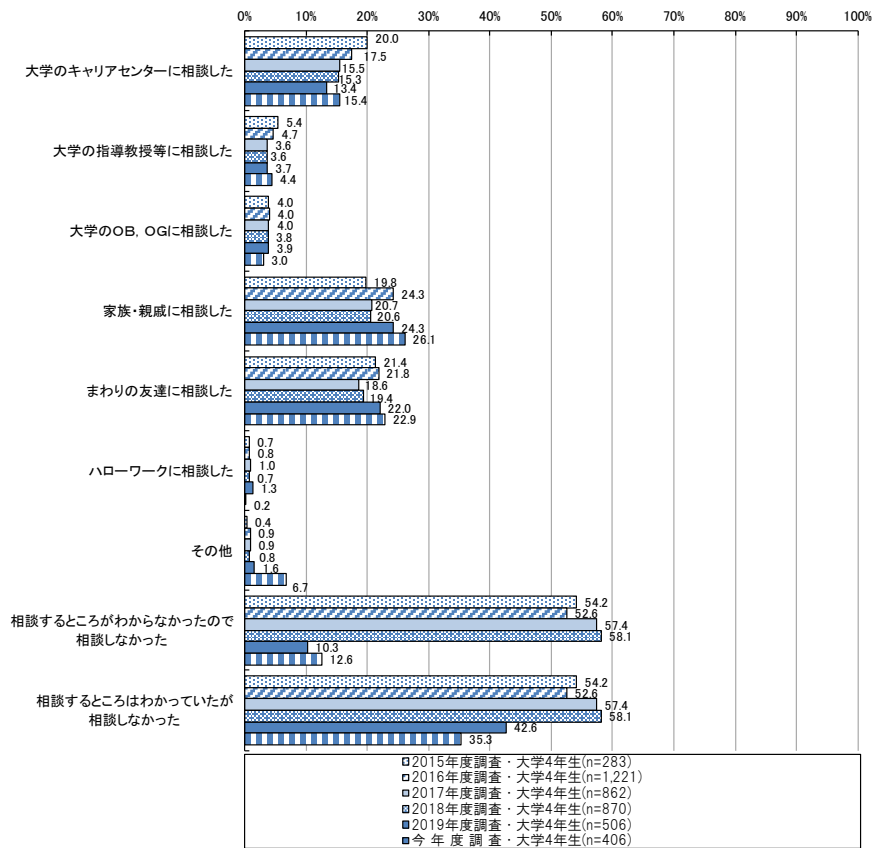
一方、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」が約1割、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約3割となっている<sup>98</sup>。過年度調査と比較すると、2019年度調査との比較において、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」の回答割合が低くなっている。

図表 4-7-4 企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）

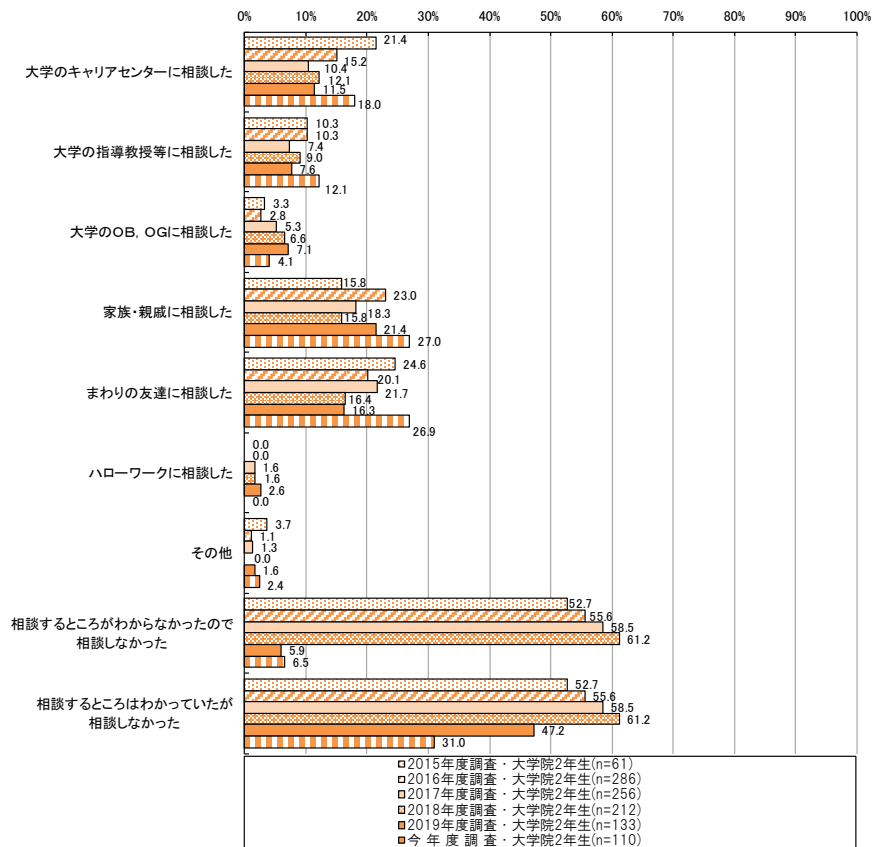


<sup>98</sup> 「相談するところがわからなかったので相談しなかった」と「相談するところはわかっていたが相談しなかった」は、2019年度調査以降新たに設けた項目で、2018年度調査以前は単に「相談しなかった」という項目で調査していた。図表4-8-4の2015年度調査～2018年度調査の結果では、「相談しなかった」という項目の回答割合を、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」と「相談するところはわかっていたが相談しなかった」の項目の中で繰り返して掲載している。

(大学4年生)



(大学院2年生)

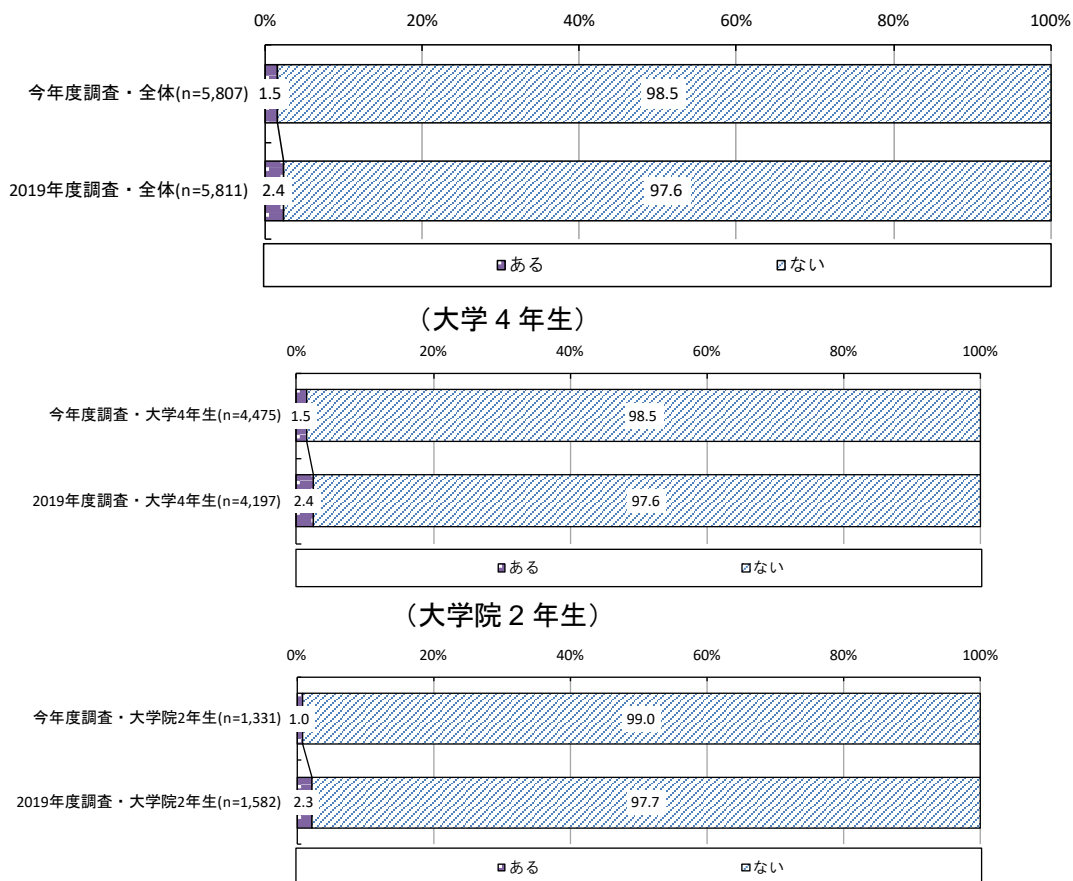


## (8) セクシュアルハラスメントの状況

### ①セクシュアルハラスメント行為の有無

就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は1.5%であった<sup>99</sup>。

図表 4-8-1 セクシュアルハラスメント行為を受けた経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)



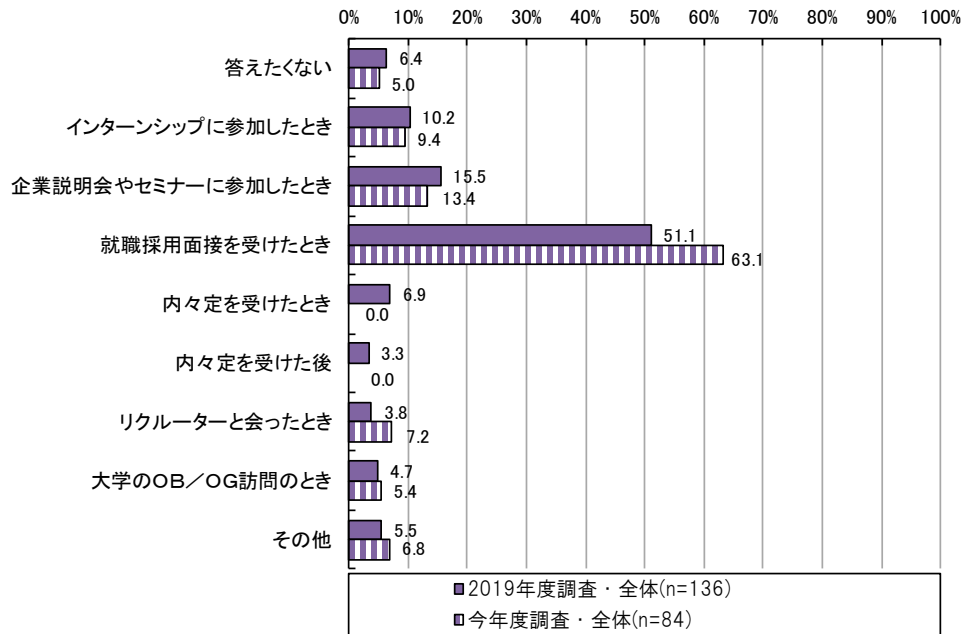
<sup>99</sup> 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。(以降のセクシュアルハラスメント行為に関する各設問についても同様)

## ②セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング

セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者に関し<sup>100</sup>、行為を受けたタイミングとしては、「就職採用面接を受けたとき」との回答が約6割と最も多く、次いで「企業説明会やセミナーに参加したとき」が約1割となっている。また、「内々定を受けたとき」「内々定を受けた後」と回答した者はいない結果となっている。

2019年度調査と比較すると、「就職採用面接を受けたとき」の回答割合が高くなっている。

図表 4-8-2 セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



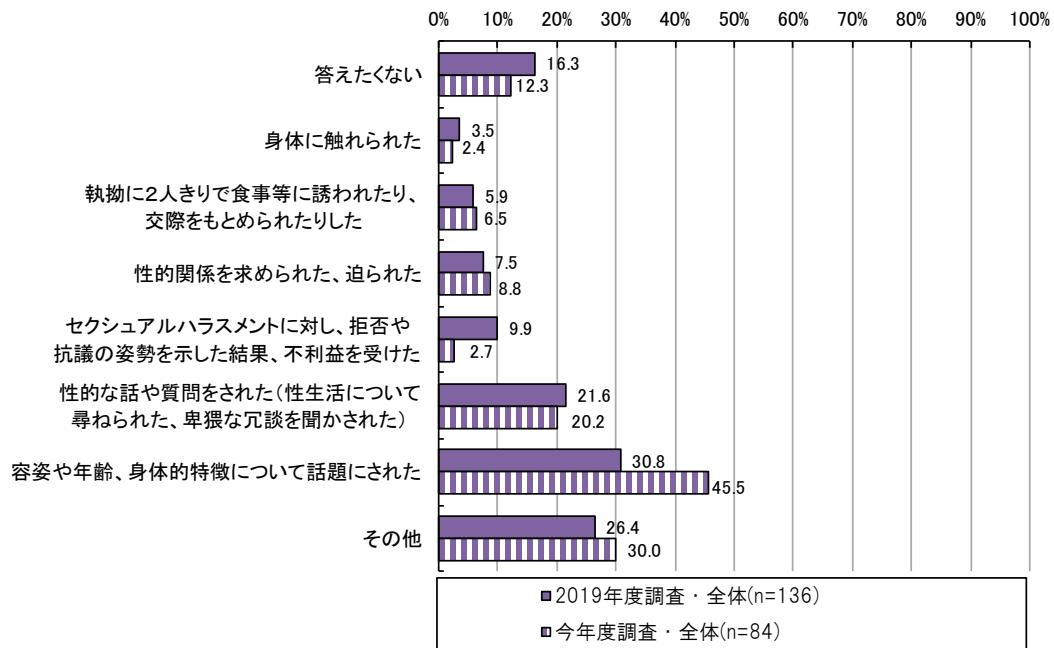
<sup>100</sup> 以降の設問に関してはセクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象としたが、選択肢として「答えたくない」の項目を設けた上で、差し支えない範囲で回答いただくように案内をした（アンケート調査の最終の項目とし、当該調査項目に回答しなくても回答終了とすることが可能なように設定をした）。なお、集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

### ③セクシュアルハラスメント行為の内容

どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けたかについて、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」が約 5 割、「性的な話や質問をされた（性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた）」が約 2 割となっている。また、「その他」の回答割合も約 3 割となっている。

2019 年度調査と比較すると、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」の回答割合は高くなっている。

図表 4-8-3 セクシュアルハラスメント行為の内容（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）



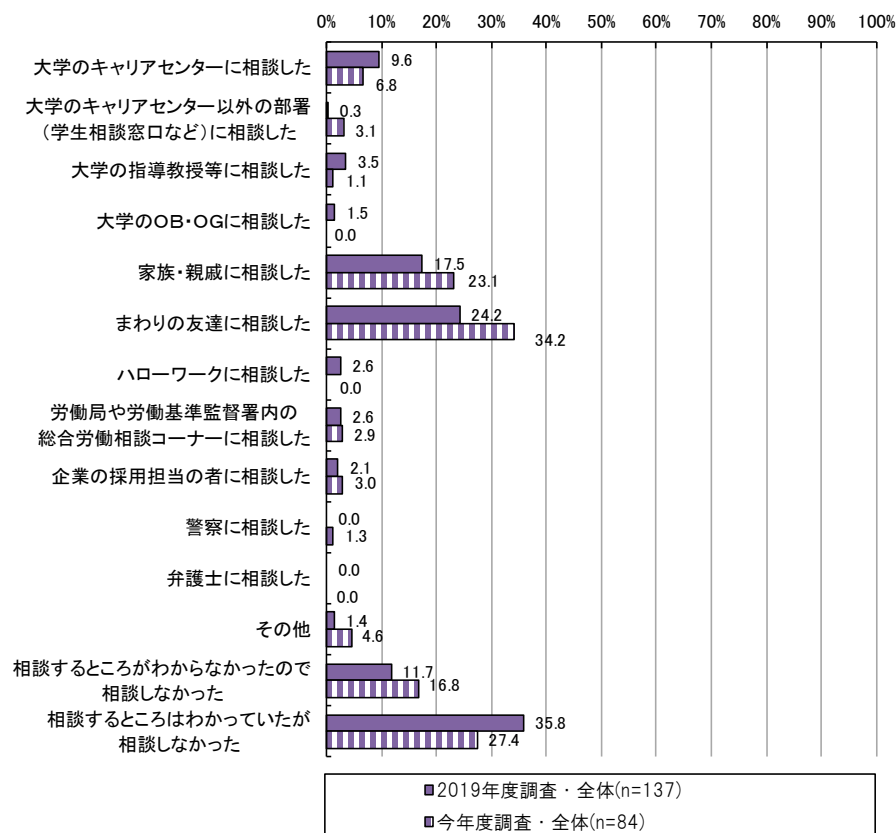


#### ④セクシュアルハラスメント行為に関する相談

セクシュアルハラスメント行為に関し相談したことがあるかについて、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約3割、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」は約2割となっている。相談先としては、「まわりの友達に相談した」が約3割、「家族・親戚に相談した」が約2割となっている。

2019年度調査と比較すると、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」の回答割合は高くなっているが、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」は低くなっている。相談先としては「家族・親戚に相談した」「まわりの友達に相談した」などの項目で回答割合が高くなっている。

図表 4-8-4 セクシュアルハラスメント行為に関する相談（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）

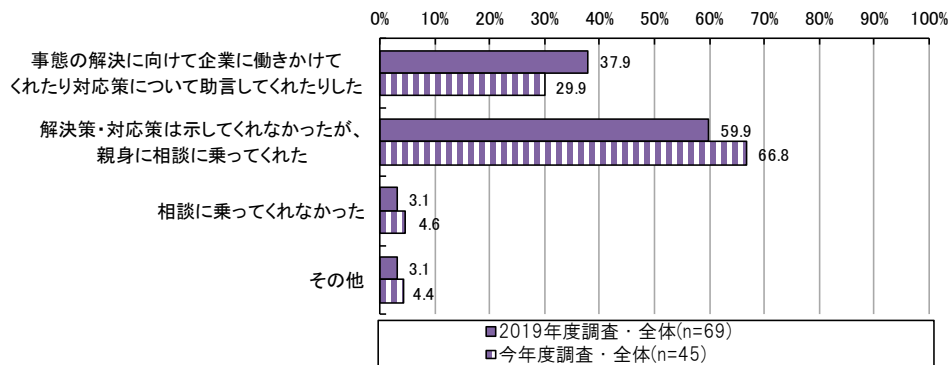


⑤セクシュアルハラスメント行為に関する相談への対応

セクシュアルハラスメント行為を相談したときの対応について、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」が約 7 割、「事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした」が約 3 割となっている。

2019 年度調査と比較すると、「事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした」の回答割合は低くなり、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」や「相談に乗ってくれなかった」の回答割合は高くなっている。

図表 4-8-5 セクシュアルハラスメント行為に関する相談への対応（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）

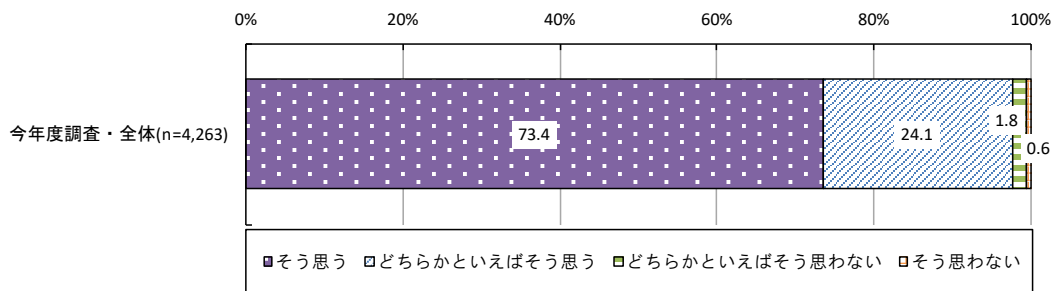


## (9) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

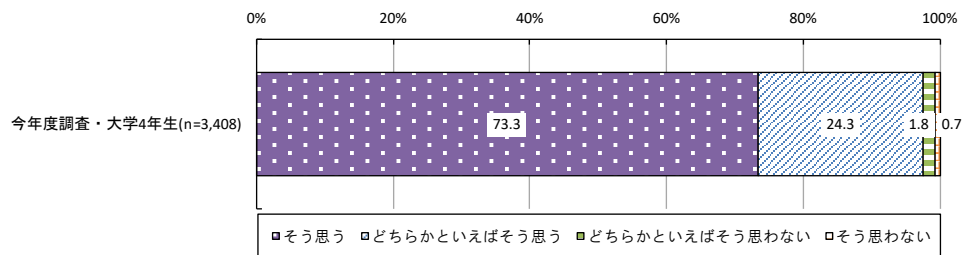
### ① 企業説明会やセミナー等における感染拡大防止の配慮

対面での企業説明会やセミナー等の開催にあたって、出席者へのマスクの着用や手洗いの推奨、アルコール消毒薬の設置、こまめな換気など、感染の拡大防止について企業が配慮していたかについて、「新型コロナウイルス感染症の拡大前の時期の参加であったため、わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」の回答割合が約7割、「どちらかといえばそう思う」と合わせた回答割合が9割以上となっている<sup>101</sup>。

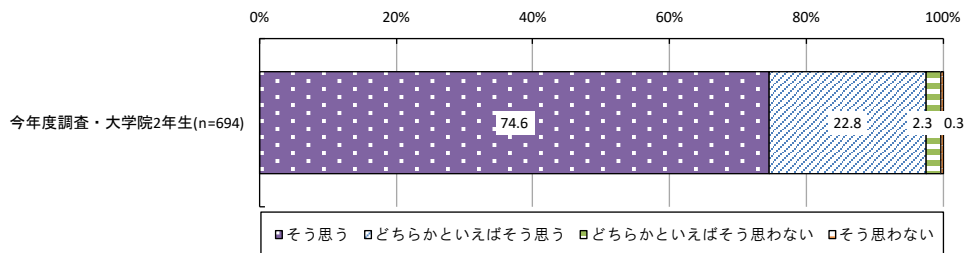
図表 4-9-1 対面での説明会やセミナーにおける企業の感染拡大防止の配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)

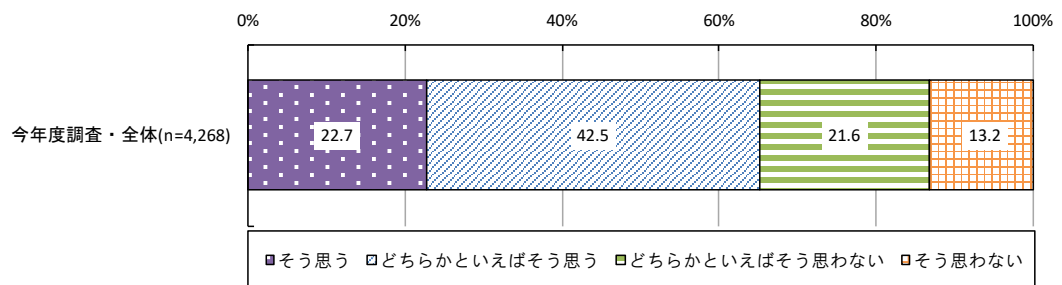


<sup>101</sup> 企業説明会やセミナー等について、「対面のみでの参加」または「対面とウェブ等の両方での参加」に1社以上回答した者のみを集計対象とした。

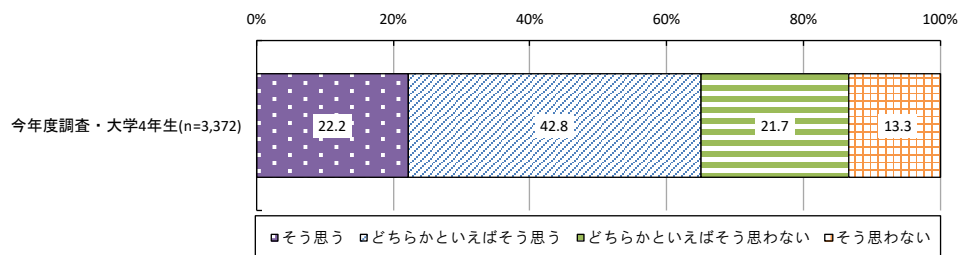
## ②企業説明会やセミナー等の開催時期変更・中止に関する連絡の学生への影響の考慮

企業説明会やセミナー等の開催時期の変更や中止に関する企業からの連絡が、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている<sup>102</sup>。

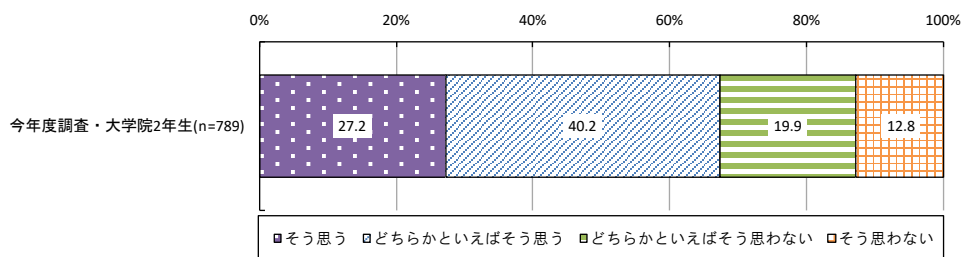
図表 4-9-2 企業説明会やセミナー等の開催時期に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)

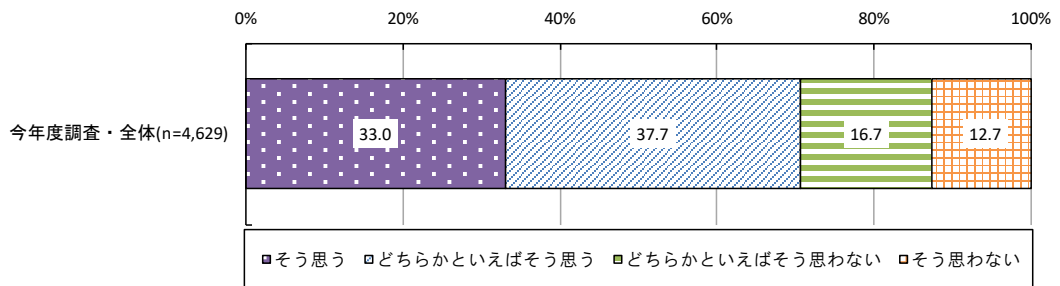


<sup>102</sup> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、「開催時期が後ろ倒しに変更された」、または「参加を予定していたが開催が中止になった」企業説明会やセミナー等が1社以上あったと回答した者のみを集計対象とした。

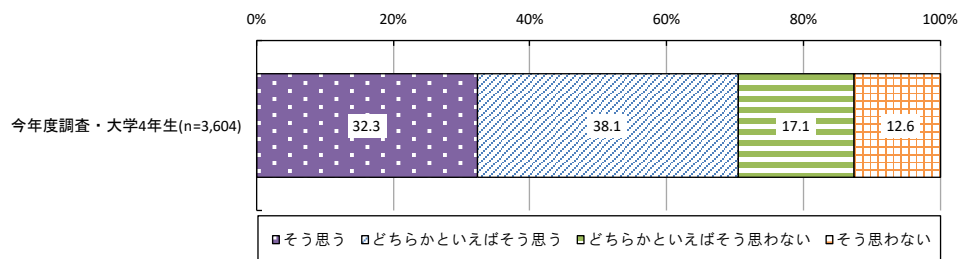
### ③対面での企業説明会やセミナー等への欠席と採用選考への影響に関する説明

対面での企業説明会やセミナー等について、参加できなかったことをもってその後の採用選考に影響を与えることはない旨の説明が企業等からされていたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている。

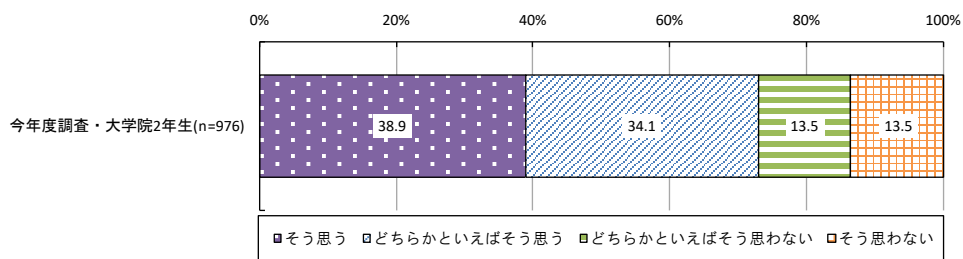
図表 4-9-3 対面での企業説明会やセミナー等への欠席と採用選考への影響に関する説明の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



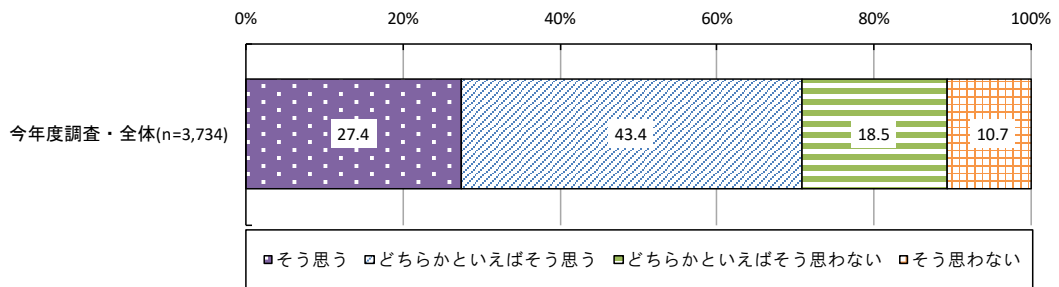
#### (大学院2年生)



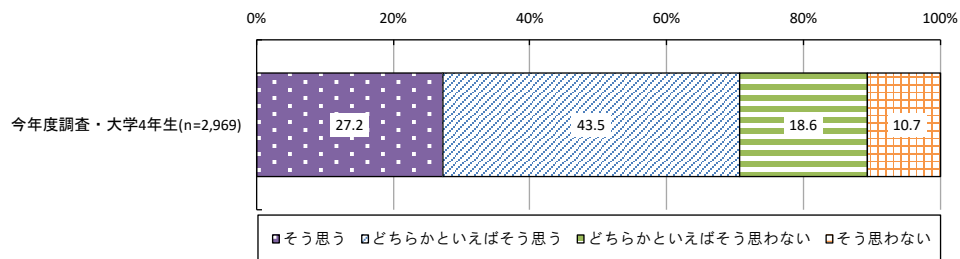
#### ④エントリーシートの受付期間の変更・中止に関する連絡

エントリーシートの受付開始時期の変更や提出期限の延長、中止の企業からの連絡が、できるだけ早期に、余裕を持っておこなわれるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約 7 割となっている<sup>103</sup>。

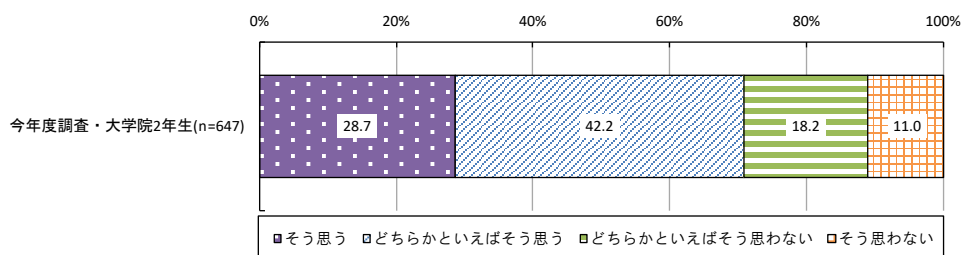
図表 4-9-4 エントリーシートの受付期間に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)

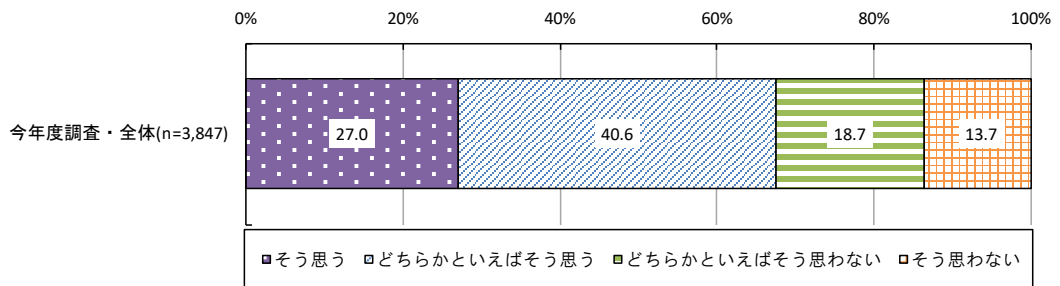


<sup>103</sup> 新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、「エントリーシート受付開始時期が後ろ倒しに変更された」、「エントリーシートの提出期限が延長された」、または「エントリーシート提出を予定していたがエントリーの受付が中止になった」企業が1社以上あった者のみを集計対象とした。

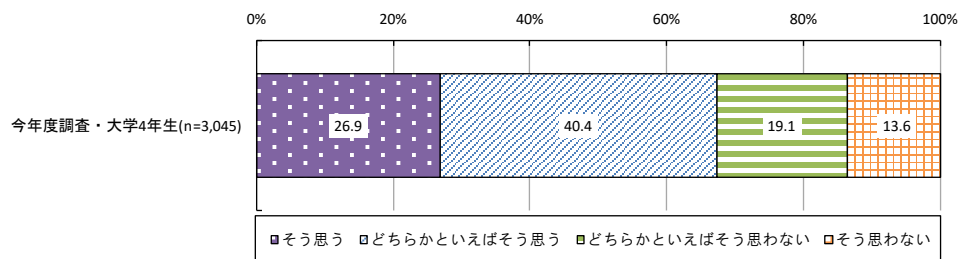
### ⑤採用面接の時期の変更・中止に関する連絡

採用面接の時期を後ろ倒しに変更することや中止の連絡が、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている<sup>104</sup>。

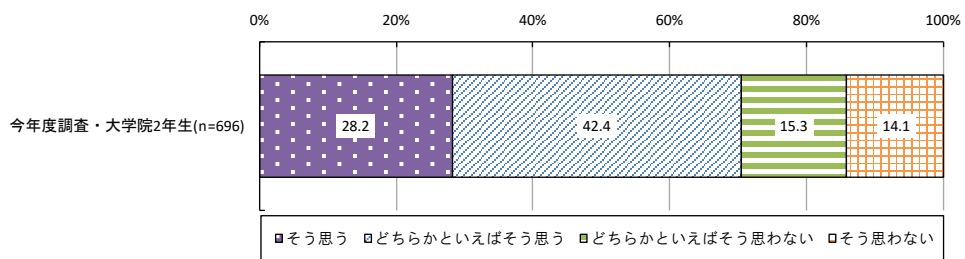
図表 4-9-5 採用面接の時期に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)

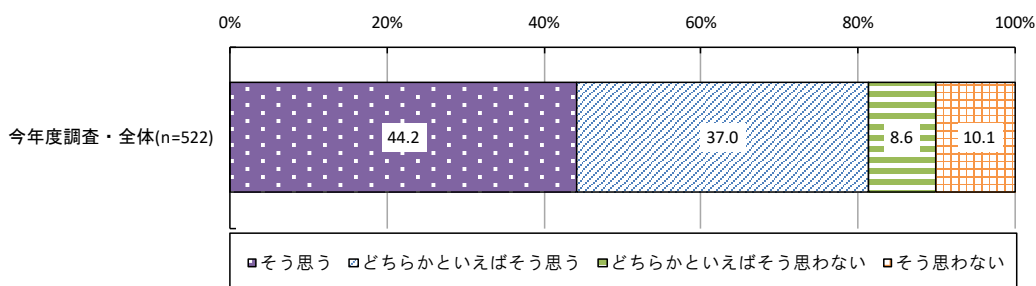


<sup>104</sup> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、「実施時期が後ろ倒しに変更された」、または「受けることが予定されていたが中止になった」採用面接が1社以上あったと回答した者のみを集計対象とした。

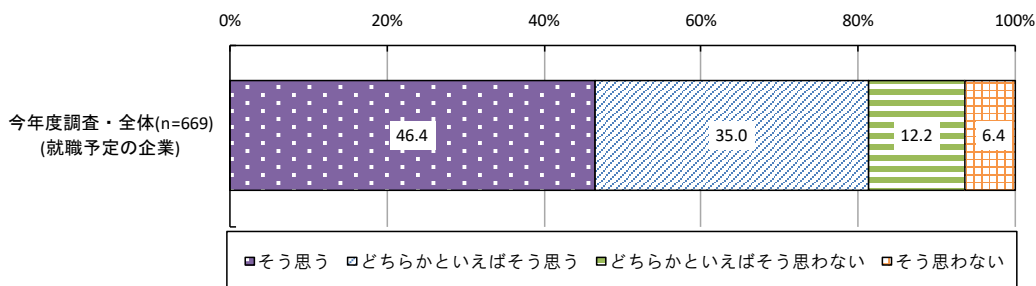
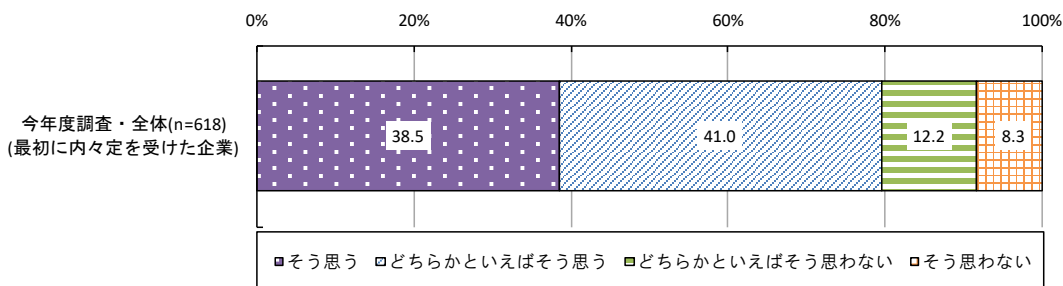
## ⑥内々定の通知時期変更に関する連絡

内々定の通知時期を後ろ倒しに変更することの連絡が、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は、1社から内々定を受けた者、複数社から内々定を受けた者の最初の内々定の企業・就職予定の企業いずれについても、約8割となっている<sup>105</sup>。

図表 4-9-6 内々定の通知時期変更に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)  
<1社から内々定を受けた者>



### <複数社から内々定を受けた者>

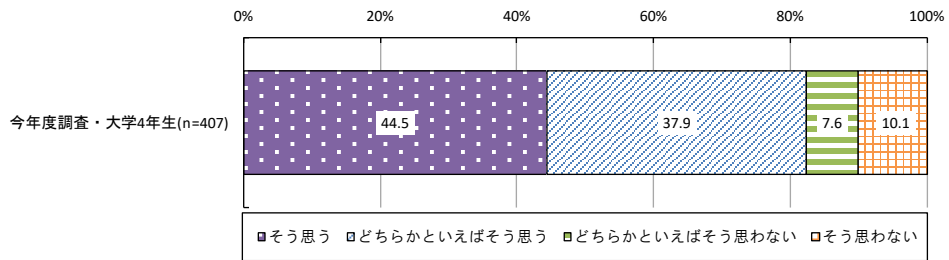


<sup>105</sup> 1社から内々定を受けた者についてはその内々定を受けた時期が、複数社から内々定を受けた者については最初の内々定と就職予定の企業の内々定それぞれを受けた時期が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、当初企業から案内されていた時期から後ろ倒しに「変更された」と回答した者のみを集計対象とした。

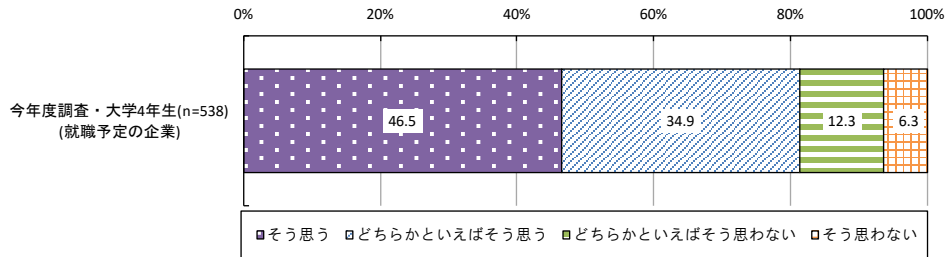
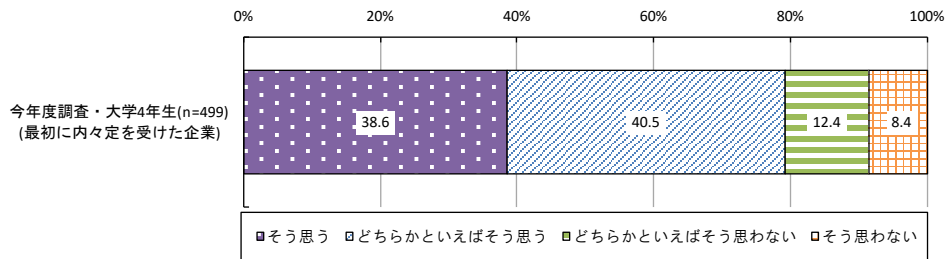


(大学4年生)

<1社から内々定を受けた者>

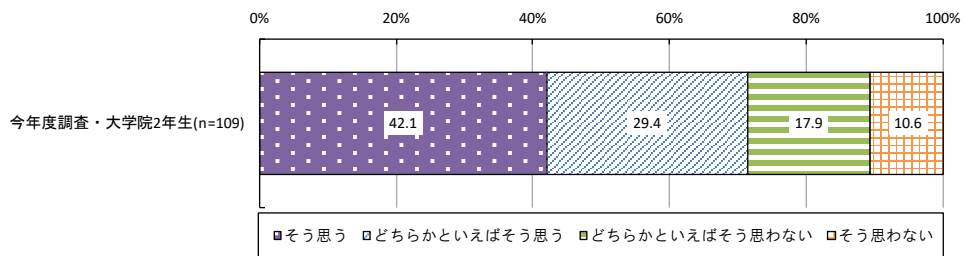


<複数社から内々定を受けた者>



(大学院2年生)

<1社から内々定を受けた者>



<複数社から内々定を受けた者>

